

## 大学病院改革プランとは

医学の充実・発展を支えるとともに地域医療の中核を担う大学病院においては、医師の働き方改革の推進と教育・研究・診療機能の維持の両立を図るため、必要な運営体制を整備し、将来にわたって持続可能な経営基盤の確立に向けて取り組むことが求められる。

これらを実現すべく、自院の運営、人員、教育・研究・診療、財務など、既に開始している取組も含め、その実情に応じた計画を策定し、2029（令和11）年度までの期間（6年間）に取り組む内容を記載したもの。

## 大学病院改革に係る4つの視点

### 運営改革

- ・改革の基本方針  
（自院の役割・機能の再確認）
- ・病院長のマネジメント機能の強化
- ・人材の確保と処遇改善 等

### 教育・研究改革

- ・臨床実習に係る臨床実習協力機関との役割分担と連携の強化
- ・臨床研修や専門研修等に係るプログラムの充実
- ・教育・研究を支援するための体制整備 等

### 診療改革

- ・都道府県等との連携の強化
- ・地域医療機関等との連携の強化
- ・地域医療機関に対する医師派遣
- ・自院における医師の労働時間短縮の推進 等

### 財務・経営改革

- ・収入増に係る取組の推進
- ・施設・設備及び機器等の整備計画の適正化と費用の抑制
- ・医薬品費・診療材料費等に係る支出の削減 等

持続可能な大学病院経営の実現



医学教育・研究の維持発展、地域ニーズに応じた診療の確保

# 運営改革

## 1 自院の役割・機能の再確認

### ①医学部の教育・研究に必要な附属施設としての役割・機能

- ・ 地域や社会の多様なニーズに対応できる教育プログラムの提供
- ・ 医師派遣や地域医療支援活動を通じて、地域医療提供体制の維持と充実を図る
- ・ 最先端の高度医療提供と研究の推進
- ・ 高度な医療安全管理体制を確保
- ・ 倫理教育の充実

### ②専門性の高い高度な医療人を養成する研修機関としての役割・機能

- ・ 地域における次世代を担う医療人育成
- ・ 整備された施設と豊富な教育スタッフによる指導体制
- ・ 西日本最大規模の高度救急救命センターでの研修
- ・ 多職種によるチーム医療への参加
- ・ 専門研修プログラムの充実
- ・ 看護学科と看護部の連携のもと、教育・育成プログラムの開発並びに教育体制の整備を通じて優れた看護師を育成
- ・ 医学部や大学病院の教育・研究力を有効に活用した質の高い医学・臨床検査学専門教育の提供

### ③医療計画及び地域医療構想等と整合した医療機関としての役割・機能

- ・ 二次医療圏の現状や人口の将来予測等をもとに、当院の中長期的に医療需要予測を試算するなどの分析強化
- ・ 久留米地区の医療提供体制を維持した上で、病床の適正化を進め、地域医療構想に取り組む
- ・ 働き方改革の強化と医師や医療従事者の確保推進

## 2 病院長のマネジメント機能の強化

### ①マネジメント体制の構築

- ・ 病院長のリーダーシップのもと、病院全体に理念や目標の浸透を図る
- ・ 病院長による指示のもと、副院長や事務部長は、病院経営、人事・労務、救命救急、がん治療、医療連携、医療安全等に関する責任者として業務を遂行する

### ②診療科等における人員配置の適正化等を通じた業務の標準化

- ・ 医師の働き方改革への対応や今後の疾患別医療需要予測等も踏まえつつ、医師の人員配置の適正化と業務の標準化を図る

### ③病床の在り方をはじめとした事業規模の適正化

- ・ 病床管理業務支援システムを導入し、計画的な病床管理や入院退院支援等を通じて、病床稼働率の向上を図る

### ④マネジメント機能の強化に資する運営に係るICTやDX等の活用

- ・ 多職種が密接に連携できる通信環境を整備するとともに、効率的に情報の集約・共有を行うことを目的に、スマートデバイスを活用したマネジメント機能の強化を検討する

## 3 大学等本部、医学部等との連携体制の強化

- ・ 理事長の下に設置している「久留米大学病院経営企画委員会」において、法人理事（財務担当理事含む）や学長、医学部長等を委員に、病院の管理運営に関する事項、稼働状況に関する事項、事業計画に関する事項など重要な内容を審議・共有していく

## 4 人材の確保と処遇改善

- ・ 段階的に新たな正規職員の雇用形態を導入
- ・ 令和6年度診療報酬改定等を活用した賃上げの実施

# 教育・研究改革

## 1 臨床実習に係る臨床実習協力機関との役割分担と連携の強化

- 医学部卒前・卒後教育のシームレス化の推進
- クリニカルスキルトレーニングセンターの拡充と利活用促進
- 教育関連病院や診療科との連携強化と役割分担の明確化
- da Vinci Xiシステム(dualコンソール)を加えた2台体制での教育支援プログラムの構築と実践
- 臨床実習を支える教員の教育強化・支援
- 教育トレーニングの機会を提供し、職務としてのTAを配置
- 臨床研究システムの改修、研究支援者の増員等により、臨床研究センター（ARO）の機能を質的、量的に高め、研究者が効率的に研究できる環境や体制を整える

## 2 臨床研修や専門研修等に係る研修プログラムの充実

- 臨床研修プログラムの定期的な見直し
- 医師少数県等に所在する臨床研修病院での臨床研修の検討
- 久留米大学関連医療施設協議会での情報共有や課題の検討
- 基礎研究医コースのプログラム充実に向けた検討
- 卒前教育を担う医学教育センターと卒後教育を担う臨床研修センターを中心とした合議体を新たに設け、課題の抽出や方法論の検討を開始
- 看護関連キャリアセンター等の設置による連携・協働した、医療人養成の促進・充実

## 3 企業等や他分野との共同研究等の推進

- 久留米大学研究推進戦略センターにおける幅広い産業ニーズに適應した共同研究の創出、出願特許の質的向上、技術移転の効率化
- 企業治験における新たなインセンティブの検討
- 研究者のモチベーションを高めるための制度創設の検討

## 4 教育・研究を推進するための体制整備

### ① 人的・物的支援

- 教育支援者の配置：医師が教育支援者として中心的役割を担い、TA、SA、RAを活用
- 学生や研究者がデータドリブンな思考を身に付けるための教育プログラムを実施
- 研究設備等の充実や教育用施設の拡充
- 教育・研究活動の進捗状況を可視化するため、IRを積極的に活用
- 学術論文や電子書籍のアクセスを充実させ、教育・研究に必要な情報資源を提供

### ② 制度の整備と活用

- 診療参加型臨床実習を通じて、学生が実際の医療現場で学べる制度を整備
- 教育・研究活動に対する助成金や研究費の確保・配分制度を整備
- 研究の倫理的側面を審査する委員会を強化し、研究の質と倫理を保証
- TA、RAを配置するための予算を設け、毎年一定数の人員を安定的に確保
- バイアウト制度の導入を検討し、データマネジメントの費用やCRC費用など、必要な運営経費の資金に活用
- 臨床研究センター（ARO）が窓口となり、研究者の負担軽減と研究の質を高めるために学内のARO機能とアウトソーシングも利用した支援体制を確立

# 診療改革

## 1 都道府県等との連携の強化

### ① 都道府県等との連携の強化

- 「福岡県保健医療計画（第8次）」に基づいた医療提供体制の確保やワンヘルス、医療DX、情報セキュリティ対策に関する取組、令和6年4月からの医師の働き方改革を踏まえたタスク・シフト／シェアの推進、チーム医療の推進に向けた人材確保に関する取組を推進
- 福岡県久留米区域地域医療構想調整会議で協議される医療提供体制の構築、地域医療構想の推進に関する事項等について、様々な将来予測のデータも示しながら、地域医療構想の推進に向けた取組を率先して推進

### ② 地域医療機関等との連携の強化

- 地域医療連携システム（アザレアネット）の利用推進
- 退院調整システムの活用
- 周術期等における医科歯科医療連携の推進
- 久留米大学関連医療施設との連携強化

### ③ 自院における医師の労働時間短縮の推進

#### 【多職種連携によるタスク・シフト／シェア】

- 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の策定、当該計画の達成状況の評価
- 特定行為看護師の育成強化
- 医師事務作業補助者の増員や組織体制の強化

#### 【ICTや医療DXの活用による業務の効率化等】

- 問診システムの導入
- 生成AI(診療情報提供書、退院サマリ等)の活用
- 電子カルテの院外利用を含めた多職種コミュニケーションツールの導入
- 情報セキュリティ対策の強化

#### 【その他医師の働き方改革に資する取組】

- 女性医師支援及び院内の勤務医の労働環境改善等の男女共同参画事業に係る方策の立案やDX活用による業務負担軽減

## 2 医師少数区域を含む地域医療機関に対する医師派遣（常勤医師、副業・兼業）

- 「久留米大学関連医療施設協議会」による教育関連施設等との連携強化、相互の医療レベルの向上、卒前卒後教育の相互の充実
- 医師少数区域など医師の地域偏在・診療科偏在が著しい地域への医師派遣に関する協議の継続
- 福岡県の事業として設置している「地域医療連携講座」を活用し、医師少数区域における医師の地域・診療科偏在解消を図る

## 1 収入増に係る取組の推進

### ①保険診療収入増に係る取組等の更なる推進

- ・ 病床稼働率の向上、手術件数の増加、がん医療の充実、救急医療の充実、小児・周産期医療の充実
- ・ 初診患者数の増加を目的とした外来機能の強化
- ・ 平均在院日数の適正化・見直し
- ・ AIレセプトチェッカーの導入に向けた検討

### ②保険診療外収入の獲得

- ・ 総合健診センターでの人間ドックやPET検診による健診事業の継続
- ・ 特別療養環境室料の対象である個室のリニューアルを行い、療養環境の充実を図るとともに、環境に見合った料金設定となるよう見直しを行う

### ③寄附金・外部資金収入の拡充

- ・ 寄付者の希望に沿った使途を選択できる「新時代を拓く久留米大学募金」の活用
- ・ 寄付者の意向を踏まえ、一定の基準を満たす高額な寄付に対し、寄付金を原資として寄付者名等を冠した基金を創設し、教育・研究活動や学術振興の更なる充実、学生への支援及び診療環境の充実など、本学を支援される寄付者の思いを形にし、永続的な寄付文化の醸成を図る
- ・ 各学部と同窓会と連携した広報による寄付活動、卒業生を対象とするホームカミングデー開催等による寄付活動の強化
- ・ 治験収入増に向け、臨床研究支援体制の強化を図るとともに、企業との橋渡し事業からの情報収集を行い、基礎から臨床まで、幅広い受託研究のシーズを開拓する支援を行う

### ④その他の外部資金収入について

- ・ AMEDや厚労科研などの公的な補助金の獲得に向けた支援体制の強化
- ・ 科研費獲得セミナーの開催や研究計画書のコンサルテーション強化

## 2 施設・設備及び機器等の整備計画の適正化と費用の抑制

### ①施設・設備・機器等の整備計画の適正化

- ・ 防災強化・経営改善・患者サービス向上・医師や職員の働き方改革等へ寄与すること等を重視した施設整備計画の立案
- ・ 医療機器の購入については、病院の機能・運営の継続に影響を与える機器の更新を最優先すること、新規申請については、緊急性や計画性、費用対効果など多方面からの評価を行う

### ②費用対効果を踏まえた業務効率化・省エネルギーに資する設備等の導入

- ・ 光熱費高騰やカーボンニュートラルに係る取組等の状況を鑑み、今後においても、照明LED化工事や空調設備等の更新を計画し、より省エネルギー効果の高い設備等の導入を検討する

### ③導入後の維持管理・保守・修繕等も見据えた調達と管理費用の抑制

- ・ 医療機器の特性や使用する医師やコメディカル等の意見を参考にしつつ、スポット点検で対応可能か、フルメンテナンスでの保守契約が必要かなどを判断していく

## 3 医薬品費、診療材料費等に係る支出の削減

### ①医薬品費、診療材料費の削減

- ・ ベンチマークを踏まえた採用品目の厳格な選定や効果的な価格交渉を行うとともに、在庫品についても適正な管理を徹底する
- ・ 再製造単回使用医療機器（R-SUD）使用の検討

### ②その他支出の削減

- ・ 業務委託について、委託内容が適正に実行されているか、運用面で問題が生じていないかなどを委託業者別に評価し、必要に応じて業務仕様書の見直しや業者変更を検討する

## 4 その他財務・経営改革に資する取組等

- ・ データ等の根拠に基づいた病院経営方針や中・長期的計画等を策定するとともに、医師をはじめ全職員の経営に対する意識改革についても、積極的に取組を進めていく